**Veritas 250BLスマートミキサーアンプ**

設計者とエンジニアのための仕様概要

2025年6月

本製品は、48 kHz、24ビットのデジタル信号処理アーキテクチャを備えたD級増幅方式を採用しています。スイッチング電源が採用されており、50/60 Hzで100～240 V（±10%）のAC電源で動作します。着脱可能な電源コードを備えたIEC C14電源インレットが付属します。フロントパネルに電源スイッチが搭載されています。自動スタンバイモード機能を備え、機能を有効や無効にできます。

短絡や一般的な過熱に対する保護機能を備えています。自然対流の冷却システムを実現する通気口が設けられています。

2つの出力チャンネルを搭載し、4～8Ωのローインピーダンスシステムを駆動できます。出力は、4Ωで50 W/チャンネル、8Ωで25 W/チャンネルです。スピーカーの出力端子用に2口の2ピンユーロブロックコネクターが用意されています。AUXラインの出力用に2口のRCAコネクターが用意されています。デジタルシグナルプロセッサーには、スピーカー出力とAUX出力に適用できる選択可能なEQのプリセットが用意されています。

本製品には、2つのラインレベル入力（RCAステレオペア x 2）、ブルートゥースワイヤレス信号入力、フロントパネルのマイク/ライン入力（XLR/1/4インチ兼用コネクター x 1）、ページングマイク入力（4ピンユーロブロックコネクター）が備わっています。フロントパネルのスイッチからラインレベル入力とブルートゥース信号入力を選ぶことができます。背面にページングマイク入力を備え、プッシュトゥトーク（PTT）機能に対応したダイナミックマイクに対応します。マスターボリュームコントロールからページングマイク入力を制御するか、バイパスするかを指定できる設定が用意されています。ブルートゥース信号入力を除くすべての入力に、独立した入力ゲインコントロールを備えています。

本製品の周波数特性は40 Hz～18 kHz（+0/-3 dB）です。定格出力時のTHD+Nは0.3 パーセント以下です。チャンネル分離（クロストーク）は、1 kHzにおいて定格出力より-60 dBV以下です。ダイナミックレンジは88 dBです。入力レベルは、ラインレベル入力で-10 dBV、ページングマイク入力で-58 dBVです。

フロントパネルには3つのLEDが搭載されており、それぞれ、電源やスタンバイの表示、入力レベルの信号の有無やクリッピングの表示、ブルートゥース接続状況の表示に使用されます。

本製品の各種設定は、フロントパネルのOLEDディスプレイとロータリーエンコーダーからメニューやインターフェースを操作して調整します。

Bose Professional ControlCenter CC-1/CC-2アナログコントローラー用のポートを1つ備えています。外部のドライ接点を使用することで、スピーカー出力とAUX出力をミュートするMUTE接点を装備しています。

本体ケースは塗装鋼板です。高さは1RUまたは44 mm（1.7インチ）（EIA標準ラックマウント向け）です。幅は214 mm（8.4インチ）、奥行きは310 mm（12.2インチ）です。重量は2.0 kg（4.4ポンド）です。

正式名称はVeritas 250BL smart mixer amplifierです。